

石巻で「北上川フェア」

藩制時代の舟運再現

登米のコメ船などで会場運ぶ

河川に親しみ、理解を深めてもらうイベント「北上川フェア」(実行委員会主催)が10月29日、石巻市中央2丁目の「かわまちオーブンパーク」で開かれた。藩制時代に発達した北上川の舟運を体験してもらおうと、登米市のコメが川を下って会場に運ばれ、来場者に振る舞われた。

舟運は一般社団法人「貞では同市の登米水辺プラザ山運河ネット」が企画。石巻市の児童や親ら6人が参加し、登米市登米小5年の児童が育てたひとめぼれ15キを船と車両で運んだ。船



船でコメを運ぶ児童と保護者ら

起き、1合ずつ無料で配られた。コメを運んだ同市渡波小3年の直見祐君(8)は「船からはいつもと違う自然の

景色が見えた。コメはそこそこ重かった」と話した。藩制時代、北上川流域で育てられたコメは舟運で石巻や仙台に運ばれ、仙台藩を支えた。貞山運河ネットの佐藤四郎事務局長(右)は「北上川や運河群を知り、足を運んでもらいたい。来年以降も続け、観光資源に育てていきたい」と語った。フェアでは企業や団体、自治体がブースを出展。国土交通省の衛星通信車の展示や、水道水とミネラルウ

ォーターを飲み比べる「利き水チャレンジ」などがあった。イワナのつかみ取りや会場近くを周遊する北上川クルージングも企画され、多くの家族連れでにぎわった。